

# ホケンダイつきいちぜミ(2025年12月号)



Q1. 研究テーマを教えてください。



## アジア諸国の若手栄養士への教育・研究サポート



Q2. お名前と今の仕事の内容を教えてください。



山本 茂 管理栄養士、特別研究教授

青森県立保健大学大学院健康科学研究科 アジアの栄養食文化研究室



活動の一つである「アジアの若手栄養士ネットワーク」について、紹介させていただきます。この活動は、2022年に開始しました。第一回会議は、東京味の素本社で行いました。第2回会議はタイ栄養士会招待、第3回会議はフィリピン栄養士会招待、2025年5月には代表1名がローマの世界農業食糧機構に招待されました。第4回会議は今年10月に本学(青森県立保健大学)で実施しました。2026年は6月台湾栄養士会、9月フィリピン開催のアジア栄養士会議に招待されています。

今年の10月13-18日には、約10名のメンバーが青森に集まりました。下に写真添付

# ホケンダイつきいちぜミ(2025年12月号)



Q3. 研究室名とリーダーの先生を教えてください。



山本 茂 管理栄養士、特別研究教授  
青森県立保健大学大学院健康科学研究科 アジアの栄養食文化研究室



Q4. どうしてその研究をしようと思ったのですか。



栄養士の仕事の重要性は、だんだんと認識されてきましたが、十分な評価は得られていないと思います。特にアジアの発展途上国では。妥当な評価を得るには、栄養士自身も期待に応えることのできる能力が必要です。そのために、ネットワーク活動を通じて若手栄養士の研究力と実践力を高めたいと思いました。

# ホケンダイつきいちぜミ(2025年12月号)



## Q5.それはどんな研究ですか。

これまで、アジア諸国からの留学生と一緒に、あるいは現地の研究機関で以下のような研究を実施してきました。

1. 栄養士養成の実践(養成施設のない国、あっても脆弱な国が沢山あります)
2. 学校給食の普及と改善(日本の学校給食は世界一と言えると思う)。
3. 子供の肥満率の急激な増加を止める。日本の子供の肥満率は、10%以下で世界で最も低いと言えよう。東南アジアの子供の肥満は、この10余年の間に急激に増え都市部では30%を超え、国としても20%を超える。
4. 人口の高齢化が進み、高齢者の栄養管理法について研究指導している。



## Q6.どんな成果が得られますか。



1. ベトナム随一のハノイ医科大学に4年生栄養士課程を作り(2013)、卒業生20余名を日本の大学院に招聘し、教育・研究支援を行った。
2. アジア諸国からの留学生10名以上が日本の学校給食を学び、母国でそれを実践に移す活動を開始している。
3. 子供および周囲の人々の肥満に対する考え方、食事改善法、例えば野菜摂取量を増やすなどの実施が増えてきた
4. 咀嚼嚥下困難者の食事法、介護老人ホームの栄養管理法などで進歩がみられるようになった。



# ホケンダイつきいちぜミ(2025年12月号)



**Q7.この結果をどんな人にどのように活用したいですか。**



AYDNの活動を、若い栄養士の方たちに知っていただき、参加いただきたい。日本人メンバーがもっと必要です。毎月オンラインで話し合いをしていくので、ぜひ参加いただきたい。アジアの栄養士達とよい友人関係を築くことが、いちばん大切だと思います。友達になることから、たくさんの成果が生まれてくると思います。



**Q8.皆さんにメッセージをお願いします。**



日本の若い栄養士！  
栄養学の高い知識のみならず高い意識をもっていただきたい。特に青森県立保健大学の卒業生には日本、そしてアジアのリーダーになっていただきたい。まずは、本学大学院生のカンボジア出身のRyさん、Onさんと友達になってください。

# ホケンダイつきいちぜミ(2025年12月号)



最後に、研究のことをもっと知りたい！大学院のことを  
もっと知りたい！場合は、どちらにコンタクトすればいいですか？



山本 茂 管理栄養士、特別研究教授  
〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬58-1  
青森県立保健大学大学院健康科学研究科 アジアの栄養食文化研究室  
017-765-4169



山本先生、ありがとうございました。  
保健大学では、毎月、その年のテーマに沿って、  
情報を発信していきます！！

## 横浜での最初の話し合い2022





**kickoff meeting 2023 東京 味の素**

- ・2024年、タイ栄養士会に招待されました。
- ・写真(左)は、参加メンバーの写真です。
- ・写真(下)は、タイ栄養士会会长が青森保健大の大学院生に記念メダルを渡しているところです。



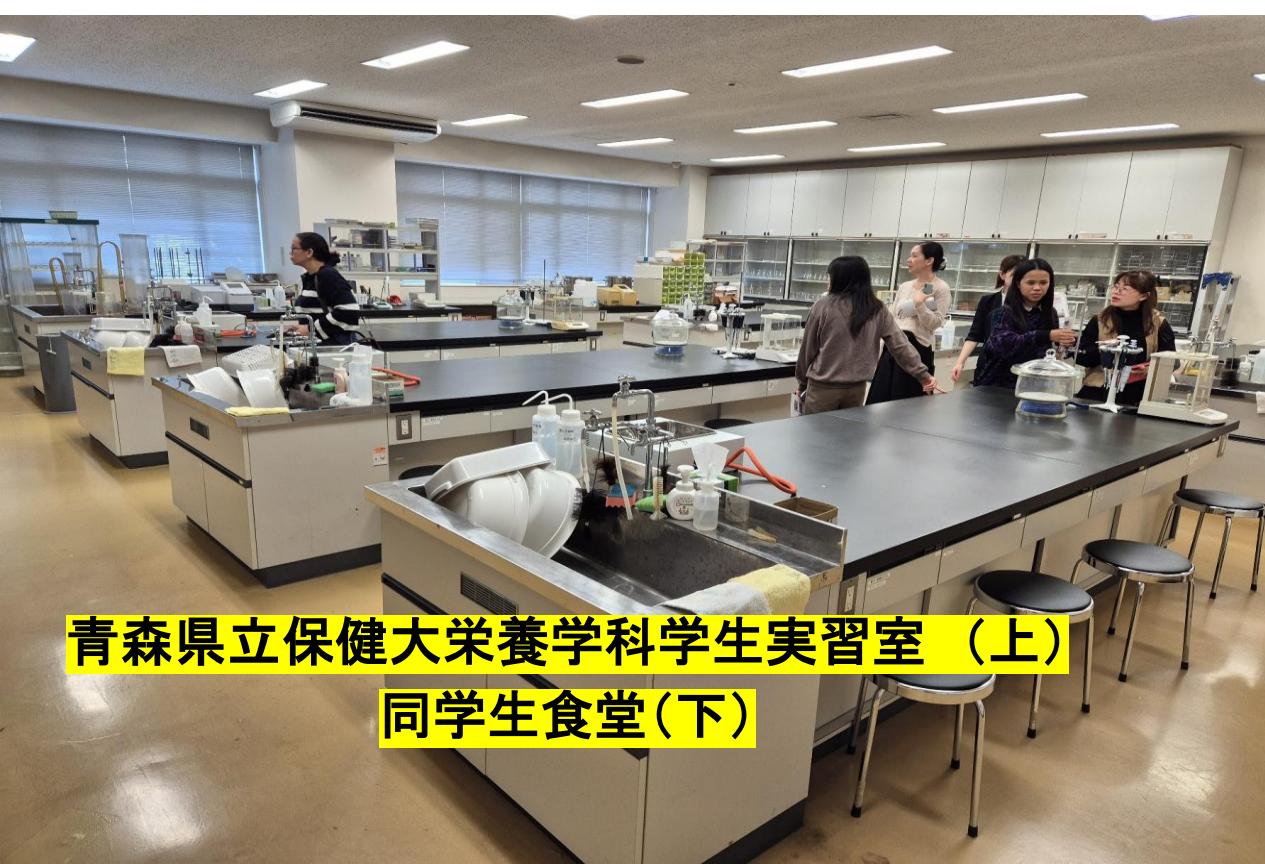
# ALBERTUS MAGNUS BUILDING

2025フィリピン栄養士会に招待されました





- 今年(2025)の10月13日～18日には、約10名のメンバーが青森に集まりました。
- 栄養士の活動見学に、以下施設を訪問しました。
  - 1) 青森県立保健大学
  - 2) 青森市学校給食センター調理場
  - 3) 和幸園 特別養護老人ホーム
  - 4) 平内中央病院



青森県立保健大栄養学科学生実習室（上）  
同学生食堂（下）





皆、青森、そして日本が  
大好きになったようです。